



三和中だより

蒼き魂

自ら学び 自ら考え 協働できる 心豊かな生徒の育成

*いじめ、体罰・セクハラ相談窓口 TEL: 0847-85-4511 (山根教頭・高垣教諭・各担任)

◆ 校内合唱コンクール 気持ちあふれる歌声と想いを届けました!

6月19日(木)、第9回校内合唱コンクールを開催しました。今年のテーマは“歌笑満開”で、一人一人がもてる力を発揮して、「満開」の歌声を届けようと、生徒が主体的に取り組んできました。当日までの約1ヶ月間、どうやったら美しいハーモニーができるのか、伝えたい想いが伝わるのか、どの学年も日々悩みながら、練習を重ね、その成果を体育館一杯に響かせました。悩んだ分だけ学年の絆は深くなり、届けたい想いを見事に歌声にのせることができました。

また、吹奏楽部も迫力のある演奏で、全員で一つ一つの曲を作り上げてきた“想い”を感じることができました。音楽表現を通して、その場にいた誰もが心通わせることができた時間でした。生徒の皆さん、素敵な歌声と演奏、そして感動をありがとう!

素敵な音色のハーモニーの吹奏楽



「前向きでひたむきな」歌声の1年生

「団結の深まり」を感じた2年生

「圧巻」の歌声が響き渡る3年生

三和中の伝統をつなぐ全校合唱

挨拶が心地よいなあ…

生徒の挨拶が気持ちいいです。朝は「おはようございます!」、下校時は「失礼します!」。

生徒の声を聴くとこちらまで元気になります。特に帰りのさわやかな声はしっかりとしたものです。自分から、はっきりとした声で、相手の目を見て、笑顔で、立ち止まって挨拶ができる生徒がどんどん多くなってきています。私から、挨拶の指導をしたことはありません。生徒達が自分で考えて行動した結果だと思います。友達を見て、自分の行動を改めた人もいますし、敬語の使い方を話し合っている生徒もいます。そうやって自然に広がってきた挨拶の輪という感じです。

私は、挨拶には2つの側面があると思っています。

- ・ 礼儀やマナーとして
- ・ コミュニケーションとして

さて、生徒の気持ちよくさわやかな挨拶は、地域ではいかがでしょうか?

場面が変わるとできていたことができないということがよくあります。まだまだ、本物になるには時間や経験が必要だと思いますけども、きっと、本校の生徒たちは、この先、社会に出た時に、周りにいる人が元気になる、心地の良い挨拶ができる人になると私は信じています。

礼儀として姿勢のよい挨拶を欠かさない生徒、コミュニケーションとして笑顔で手を振って合図を送ってくれる生徒、これからも挨拶を大切にして、さらに磨いていってほしいです。

校長 辻 雅人



◆ アコーディオンの独創的な音色の素晴らしさを実感！

7月1日（火）、神石高原町主催の巡回演奏会で、アコーディオン奏者の佐藤芳明さんによる素晴らしい演奏を聴きました。佐藤さんは、独学でアコーディオンを始めたのち、フランスに渡り、実績を重ね、現在は多くのアーティストと共演するなどジャンルを超えて活動されています。



佐藤さんのアコーディオンの伴奏のもと、校歌を全員で合唱しました。

生徒たちは佐藤さんが奏でる独創的な音色を堪能していました。また、演奏会の中では、これまでの自分の体験を通し、音楽がもつコミュニケーションツールとしての役割や可能性についての話を聞きました。当日、残念ながら、チェリストの新倉瞳さんの演奏を聴くことはできませんでしたが、やまなみ文化ホールでのコンサートで、お二方の素晴らしい演奏を聴く機会を頂きました。



◆ 税金の大切さを実感した租税教室！



地域の方の説明をもとに、税金の役割について考えました。

7月7日（月）、3年生は、府中法人会の青年部の方々による「租税教室」で税金について学びました。クイズ問題の賞金を所得と見立てて、所得税を払うと・・・。“こんなに引かれるんかぁ”と思わず口からこぼれましたが、税金がなかったら世の中がどうなるかを教えていただき、納税の大切さについて学習することができました。

◆ 油木高等学校オープンスクールに参加



6月27日（金）、3年生が油木高等学校のオープンスクールに参加しました。産業ビジネス科の授業体験では、フラワーアレンジメントの体験をさせていただきました。普通科の授業では、教科のより専門的な内容の授業を体験。半日という短い時間ではありましたが、進路について考える機会となりました。



部活動体験では、三和中学校を卒業した先輩方が気さくに声をかけてくださり、久しぶりに一緒に活動しました。一緒に活動する中でも、先輩方のたくましさや改めて実感したようです。中高連携の良さを感じることができたオープンスクールでした。



◆ 地域の方たちのご協力に感謝！



森林組合、商工会、観光協会等の皆様、ありがとうございました。

各学年では「総合的な学習の時間」において、神石高原町の魅力や課題について理解し、地域貢献を目指し、探究的な学習を進めています。現在3学年では、7つのグループに分かれ、それぞれが考えた課題解決に向け、取り組んでいます。地域の方をゲストティーチャーとしてお招きし、自分たちが疑問に思っていることや、課題解決に向けた具体案についてアドバイスをいただくなど、多くの方のご協力のもと学習を進めています。いつも、ありがとうございます。

朝、廊下を掃いていると、各教室から本のページをめくる音がかすかに聞こえてきます。落ち着いた空間の中で、気持ちを切り替え、集中力が高まる時間でもあります。

願わくば、活字が紡ぐ読書本来の楽しみを実感できる時間となればと思っています。

～ひとこと日記～

